自由民主党殿

釜ケ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会

（略称・釜ヶ崎反失業連絡会）

共同代表　山田　実　○

本田哲朗　○

大阪市西成区萩之茶屋3-1-10ふるさとの家気付

「野宿生活者の自立援助に関する要望」実現に向けたご支援のお願い

冠省　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

　さて、当会は大阪、釜ヶ崎（あいりん地区）におきまして、日雇労働者や野宿を余儀なくされている労働者の社会的処遇改善をめざし、微力ながら日夜努力を積み重ねているものでありますが、近年、不況の深刻化と地区労働者の高齢化に伴い、野宿生活者は増加の一途をたどり、当会はおろか、大阪市、府も、対応に苦慮する事態となっております。

　幸いなことに、全国各地で増加する野宿生活者の問題は、議員諸先生によって取り上げられ、国と関係自治体による「ホームレス問題連絡会議」が発足し、すでにご承知の如く先頃、対策指針「ホームレス問題に対する当面の対応策」がまとめられ、対策が進捗する兆しを見せております。

　しかしながら、財政問題を中心に具体的な対策実施に至る詰めはこれからなされる段階であり、対策を待ち望む野宿生活者の窮迫した状態と大きく齟齬を来しております。

　そこで当会は、非力をも顧みず、本日「ホームレス問題連絡会議」に対し、「自立支援事業」早期実施のために必要な国の財政負担措置、事業の継続性を担保する法の制定、実効性のある雇用対策などを骨子とする、別紙要望書を提出いたすことに致しました。

　全国の野宿生活者のおかれている窮状、とりわけて野宿生活者が多数存在する大阪の現状を、さらにご賢察たまわり、要望の実現、法の成立に向けて、今一層のご尽力をお願い申し上げます。

草々